

全学共通科目英語に関するアンケート調査と TOEIC スコア

長 井 克 己 (香川大学教育開発センター)

1. 香川大学全学共通科目英語のカリキュラム

本学では全学共通科目外国語科目の卒業要件として英語を6単位履修する学生が大部分を占め、その場合1年生で4単位、2年生で2単位を修得するのが標準的である。この6単位を構成する Communicative English I、II、III、IVの目的は英語によるコミュニケーション能力育成に特化され、文学作品の鑑賞や異文化理解をテーマとした授業は一切開講されない。2005年以降のカリキュラムでは1年時の英語の授業が週1回に減少してしまったため、e-learningによる毎月の課題と、前・後期末2回の TOEIC テストの自学自習を必須とすることにより、学習時間の不足を補っている。本稿は現行カリキュラムについて学生と教員を対象に行ったアンケート調査と TOEIC テストの結果分析を報告し、2016年度に予定するカリキュラム改編の資料とすることを目的とする。

2. 1年生アンケート

2014年7月の TOEIC と同時に実施し1,236名から回答を得た。結果を各学部毎の回答総数への割合で示す。1年前期は Communicative English I が必修で listening と reading に重点を置いた授業が行われている。クラス毎に指定される教科書を用いた授業とは別に、インターネットを利用した e-learning が課され、毎月末に TOEIC 対策教科書のオンライン課題を終了することが求められる。学期末には全員が TOEIC テストを受検する。1年後期は Communicative English II が必修となり、前期末の TOEIC スコアによって習熟度別にクラスが編成されている。週1回の授業とそれを補う e-learning は前期と同一であり、後期末に2回目の TOEIC テストを受験する。

図1は学籍番号順に編成した前期クラスの学生に、習熟度別クラス編成を希望するかどうかを尋ねたものである。全く希望しない学生は皆無であるが、賛成の割合については学部毎にやや違いがある。類似の設定に対する各学部内の TOEIC スコアによる層化については、2006年から2008年の本紀要の報告を参照されたい。また、以降の図全てに共通であるが、学部により英語の学力は大きく差があることに留意した上でデータの解釈が必要である。同時に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定意見とし、その割合の数パーセントの差を議論するようなことには意味がない。1年生の授業はリーディングとリスニングが中心となっているのであるが、その授業を受けている学生に最も学びたい分野について尋ねたのが図2である。医学科や教育学部の学生がスピーキングの授業を志向していることが目につく。

図3はe-learningで教材となる教科書の難易度についてである。全学部共通の教材なので、学部によっては、やや易しすぎたのかもしれない。一方図4は担当教員が各学部の特性を考慮して選択した教科書の難易度である。図5は英語の学習に費やす時間を尋ねたものである。30分もしくは60分、それなりに毎日学習しているとの回答が大部分である。

表1はアンケート実施時のTOEICテストの成績分布である。表中のtakersは受験者数、meanは相加平均、sdは標準偏差を示す。listening/readingはリスニング部分とリーディング部分の点数、total

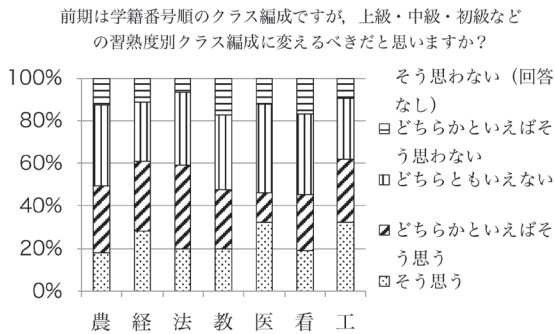


図1 習熟度別クラス編成について（1年）

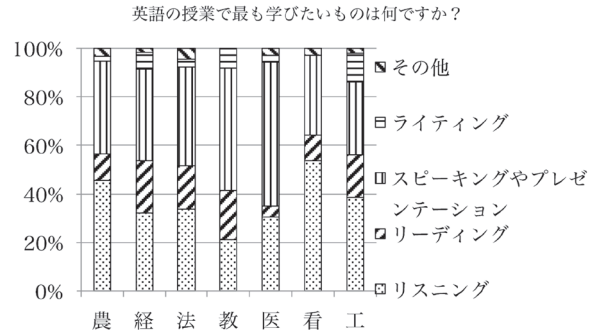


図2 1年生が英語の授業で学びたい内容

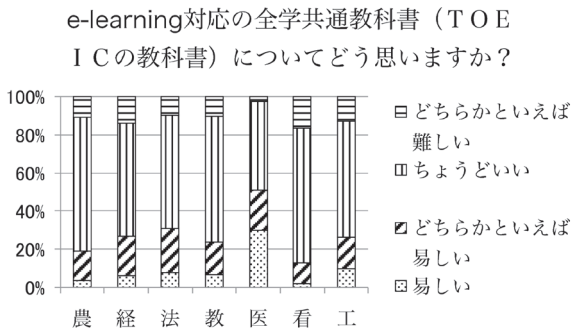


図3 e-learning教材の難易度

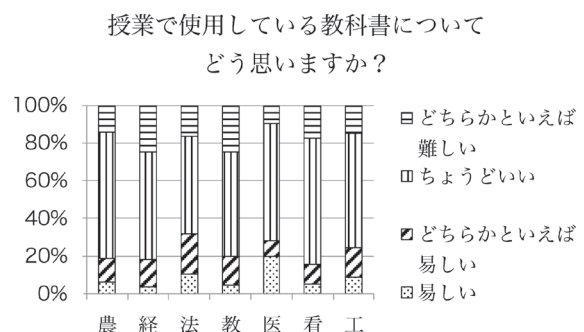


図4 授業用教科書の難易度

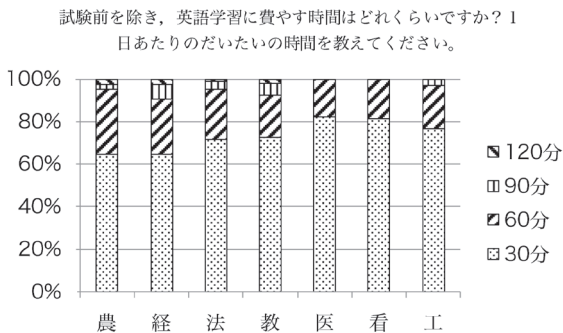


図5 1年生の平均的英語学習時間

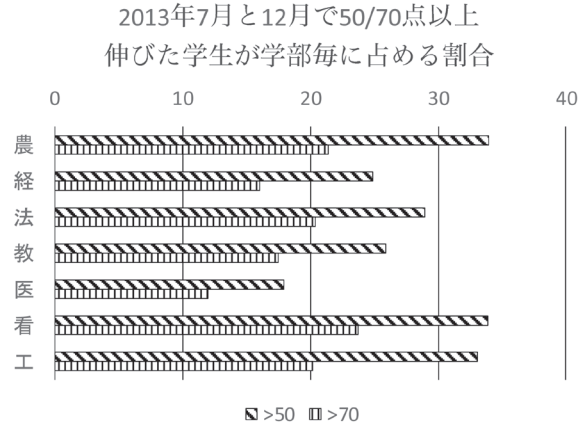


図6 スコアが50/70点以上伸びた学生の割合

表 1 2014 年 7 月実施の TOEIC テスト成績分布表

2014年07月				2014年07月			
	listening	reading	total		listening	reading	total
農 takers	153	153	153	医 takers	94	94	94
mean	247	174	421	mean	300	284	584
sd	52	52	92	sd	68	70	125
380-	1	0	0	380-	12	10	6
360-375	0	0	0	360-375	9	5	5
340-355	5	0	0	340-355	5	8	5
320-335	12	1	4	320-335	7	4	10
300-315	4	2	2	300-315	6	11	14
280-295	19	2	8	280-295	16	10	19
260-275	13	6	15	260-275	14	16	13
240-255	34	6	27	240-255	14	11	8
220-235	22	13	35	220-235	5	7	11
200-215	21	16	30	200-215	1	1	2
180-195	12	26	20	180-195	3	5	0
160-175	6	20	7	160-175	0	2	0
140-155	2	19	3	140-155	1	2	0
120-135	0	18	2	120-135	0	1	0
-115	2	24	0	-115	1	1	1
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
経済 takers	273	273	273	看護 takers	59	59	59
mean	245	181	426	mean	243	164	407
sd	50	55	93	sd	54	44	88
380-	3	0	0	380-	0	0	0
360-375	1	2	1	360-375	2	0	0
340-355	4	0	0	340-355	2	0	0
320-335	11	0	2	320-335	3	0	0
300-315	17	1	4	300-315	2	0	2
280-295	33	3	17	280-295	6	0	1
260-275	38	18	32	260-275	7	0	9
240-255	47	14	63	240-255	7	1	7
220-235	40	36	48	220-235	10	6	9
200-215	32	37	49	200-215	7	8	19
180-195	23	44	30	180-195	8	7	6
160-175	10	17	18	160-175	1	13	4
140-155	9	27	9	140-155	3	5	2
120-135	4	36	0	120-135	1	9	0
-115	1	38	0	-115	0	10	0
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
法 takers	154	154	154	工 takers	261	261	261
mean	239	181	420	mean	225	156	381
sd	53	46	88	sd	54	50	91
380-	0	0	0	380-	1	0	0
360-375	1	0	0	360-375	2	0	0
340-355	1	0	0	340-355	1	1	0
320-335	10	1	1	320-335	9	0	1
300-315	8	2	2	300-315	8	1	3
280-295	16	2	9	280-295	23	2	11
260-275	25	7	16	260-275	22	6	13
240-255	20	4	31	240-255	33	7	30
220-235	24	18	31	220-235	48	14	46
200-215	20	13	36	200-215	36	14	53
180-195	12	29	15	180-195	30	39	60
160-175	6	23	9	160-175	22	27	32
140-155	3	27	4	140-155	10	44	10
120-135	6	18	0	120-135	9	46	2
-115	2	10	0	-115	7	60	0
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
教育 takers	195	195	195	再履修 takers	44	44	44
mean	240	184	424	mean	201	134	335
sd	58	60	106	sd	62	52	105
380-	3	1	0	380-	0	0	0
360-375	0	1	0	360-375	0	0	0
340-355	3	1	2	340-355	0	0	0
320-335	11	1	2	320-335	2	0	0
300-315	13	3	4	300-315	2	0	0
280-295	22	3	14	280-295	2	0	1
260-275	28	11	25	260-275	2	1	3
240-255	24	14	39	240-255	5	2	4
220-235	21	20	30	220-235	2	2	2
200-215	26	21	29	200-215	6	1	7
180-195	20	29	26	180-195	6	2	11
160-175	8	20	14	160-175	7	2	8
140-155	9	25	6	140-155	1	7	5
120-135	2	19	4	120-135	6	8	2
-115	5	26	0	-115	3	19	1
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)

はリスニングとリーディングの合計の点数によるスケールであり、対応する数字が各段階の学生数である。例年医学部医学科が上位クラスターを、工・農・医学部看護学科が下位クラスターを作るので、1年前期のクラス分けは、医学部医学科を上級レベル、法・経済・教育学部を中級レベル、工・農・医学部看護学科を初級レベルとして設定し、到達目標や教科書に違いを設けている。この年度は農学部の平均が高く法・経済・教育学部と並んでおり、工学部の平均だけが低い。入学時点で学部間に大きな学力差がある以上、この得点差を論じて意味はないが、入試の個別学力検査で英語を課さない学部の学生の点数は低い。

香川大学の1年生は前後期の2回TOEICを受験するので、その点数の変化には常に注意を払う必要がある。教育効果のデータとしてTOEIC平均点の上昇を挙げる大学が見られるが、テストの得点調整(equation)に関しての情報が公開されず、2回のテストの難易度が同一である保証はないので、最低限複数回の比較を行わないと危険である。特にTOEICの出題形式リニューアルが2005年前後に行われ、公開テストの平均点の変動が観察されたため、本学の現行英語カリキュラムの評価をこの時期のTOEICテストの学部別算術平均で行うことはかなり危険である。そこで本稿では前期末のTOEIC点数に対して、後期末の点数が50点もしくは70点、有意に上昇した学生数を、学部ごとに比較する方法(長井2006)を再度試みた。2014年度後期のデータは本稿に間に合わないので、2013年度の前後期で検討した結果が図6である。低学力層の得点引き上げは容易であるが、高学力層(医学部医学科)が70点以上の上昇を達成することは難しいという、一般的なS字型の学習曲線を想起させる結果である。

3. 2年生調査

2年生が受講するのはCommunicative English III(前期)とCommunicative English IV(後期)であり、前期にはスピーチやプレゼンテーションが、後期にはライティングを中心とした授業である。1年後期に受験したTOEICテストの点数によって、学部ごとに上級・中級・初級の3レベルの習熟度別クラス編成となっている。2年生の意見を調査するため、Communicative English IIIの受講者を対象とした質問紙調査を行った。有効回答数は853であった。なお医学部看護学科は含まれていない。

図7は2年前期にスピーチとプレゼンテーション能力の育成を主目標とすることについて尋ねたものである。1年生ではTOEICを利用してリスニングとリーディングを中心とした授業が行われるので概ねそれ以外のテーマが望まれており、「話す」技能がテーマであることは肯定されているように思われる。図8は授業と教科書の難易度についての質問で、概ね適切なレベルの授業となっているようである。最後に図9は習熟度別クラス編成についての意見を尋ねたものである。大部分の学生が自分の学習到達度に対応したレベルのクラスを受講できており、概ね満足しているようであるが、数%の学生が自分のレベルに合っていないと感じたり、試験についての不安を表明している。2年生科目は分散キャンパスで開講され時間割上の制約が多く、現状以上に細かいレベル分けを行うことは運営上難しいのが現状である。

自由記述欄には、「英語を使う機会が増えたので、毎回楽しかった」「積極的に他の人と話をするがよいと思う」「聞き取り話せるようになりたい」「あまりスピーキングがなく、リーディングが多かつ

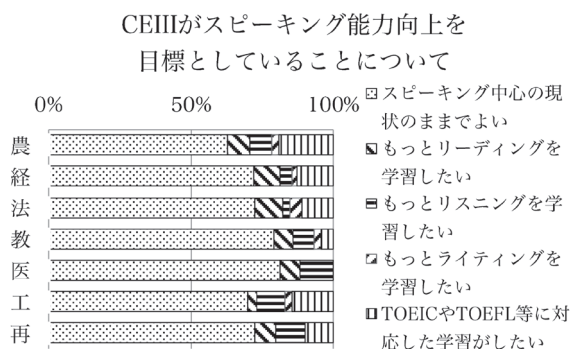


図7 CEIIIの目標について

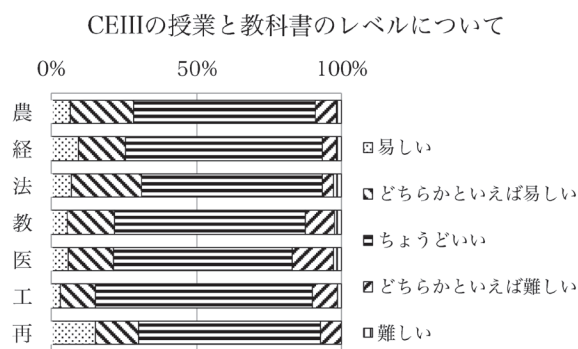


図8 CEIIIの難易度

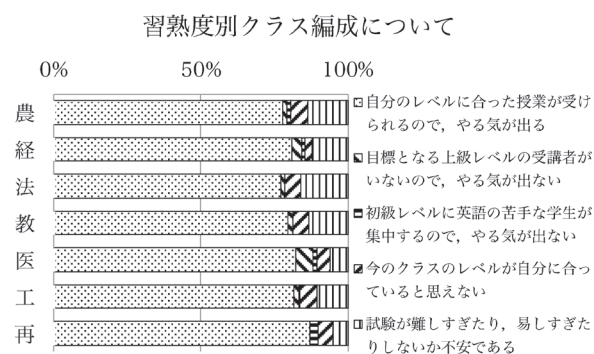


図9 習熟度クラス編成について（2年）

たので、もう少しスピーキングが多い方がうれしい」などの意見が寄せられた。

4. 2年生担当教員向け調査

2年生向けアンケートと同時に、その担当教員に対し記述式の質問紙調査を同時に行ったので、以下に紹介する。他部局の英語教員、センター所属の特命講師、非常勤講師から寄せられた以下の意見を参考とし、大学教育開発センター英語担当教員会議を中心としては改善を図っていきたい。

- All students were able to make successful presentations for their final presentation last week, although one or two students were a little weak due to the fact that they barely memorized their presentation or they were a little nervous (but being nervous is to be expected from some students).
- speaking は日本人学生にとって苦手な skill なので、この skill に特化した授業は良いと思います。
- TOEIC 受験は学生の目標となるので良いと思います。少人数クラスも 20 名くらいになるといいのですが、e-learning については、教師の負担がなくなったのはありがたい反面、学生の学習の様子が見えないところが不安です。
- 習熟度別クラス編成の成果の検証は？
- スピーチ原稿チェックの際、ライティングスキルの必要性を毎年感じます。ライティングとスピーキングを組み合わせると良いのではないかと思います。

- TOEIC は目標としてわかりやすい（結果を理解しやすい）と思われます。
- リンガポルタは学生が継続的にこつこつと取り組めばとても有効ですが、個人差があり、なかなか取り組みの進まない学生には、細かく声をかけるようにしています。
- クラスの人数によって内容が変わってくるので、人数を 20 名前後に揃えた方がいいと思います。
- 一番下のクラスを担当していますが、まとまった内容をみんなの前で発表するのが少し難しいように思われる学生さんもいます。3～4 人グループの中での発表とか、二人でお互いにするなど、少し形を変えたものを取り入れながら進めています。
- 現在受け持っているクラスの学生の殆どがスピーキングレベルを含め全体的にレベルが低いため、学生にスピーチを行わせる上で、そこに到達するまでの力をつける必要性を強く感じた。
- 1 年間継続して授業を担当したい気もします。全てが中途半端な気がするので。
- 英語のレベルが特に低い学生のケアが必要だと思いますが、その他の学生については、レベル分けの必要をあまり感じません。
- TOEIC 学生の motivation になっていることは確かです。おもしろくないとの声もありますが。
- 少人数ありがたいです。特に writing/speaking では。
- e-learning まじめにすれば力がつくと思いますが、コピペが横行しているようです。
- reading, listening 中心の授業がどちらかというと教員主体となってしまうのに比べ、学生のこれまでの体験やいろいろな考え方に英語を通して触れられる点は、楽しいです。
- もっと少ない人数が良い。
- TOEIC の成績と個々の英語能力が必ずしも一致していない。
- 現在の人数以上に増えると、スピーキングのためのクラス運営はほぼ不可能ではないだろうか。
- 再履修生の方が熱心に授業を受ける傾向がある。
- 情報が非常勤の教員にも十分伝えられているのか、よく分からない。たとえば TOEIC スコアの状況（1 回目と 2 回目の差など）や e-learning の学生の使用状況など。
- Practice makes Perfect!
- 教員の工夫次第で活気のある授業を展開できます。このまま続けてほしいです。
- 1 年次に週 2～3 回授業を受けさせることができれば、香大生の英語力向上のためにもっと良いのですが。

5. さいごに

大学教育開発センター外国語教育部を、岡山大の「外国語センター」や愛媛大の「英語教育センター」のように発展改組する計画は認可されなかった。しかしカリキュラムの改善は常に必要なものであり、2016 年度に予定される全学共通科目の見直しに対応した新カリキュラムをセンターで現在検討中である。「英語によるコミュニケーション能力の育成」という現行カリキュラムの方向性は間違っていないと考えられるので、e-learning 担当専任教員の採用により週 1 回の授業を補いたいと考えている。更に 2 年生科目は学生の希望するテーマを自由に選べるように、選択制を導入することも検討している。